

# KORAI REPORT vol.02

発行元 自由民主党大阪府第八選挙区支部 ☎ 06-6846-3366 ☎ 06-6846-3390 ✉ kourai.jimin@gmail.com  
〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚3-10-2-201

## 衆議院



### 大阪府第八選挙区支部長(豊中市・池田市)

# こうらい

## 少子化対策号 啓一郎 特集

高麗(こうらい)啓一郎。昭和55年7月9日 大阪府豊中市生まれ。豊中市立桜塚小学校、豊中市立第三中学校、大阪府立豊中高等学校、早稲田大学政治経済学部 卒業。三井住友海上火災保険株式会社を経て、衆議院議員公設秘書。練馬区議会議員一期。豊中市議会議員二期目の令和3年10月、衆議院選挙において53877票を頂くも落選。(一社)豊中青年会議所シニアクラブ所属、豊中市消防団桜塚分団所属。

暮らしのお困り事、ご意見など、お気軽にお聞かせください。月に2回程度、活動報告等を送信させていただきます！

LINE友達になってください！

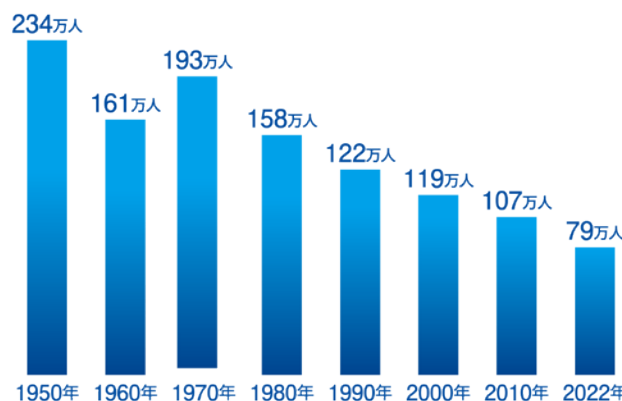


2023年年頭、岸田総理が「異次元の少子化対策」を行うと発表しました。私も政治家として、少子化対策は最も取り組みたいテーマの一つです。しかし、そもそもどれ位少子化が進んでいるのか、なぜ少子化対策が必要なのか、国民の皆様にご理解をいただく必要があると考えております。限られた紙面のため、この政策チラシは少子化対策に絞り込んだ内容となっております。

## 01 少子化の推移

まず、少子化といっても実際にどの程度少なくなっているのか、【グラフ1】をご覧ください。私が産まれた1980年と昨年の2022年を比較すると、出生数は半分位まで減っていることが分かります。また、2016年に100万人を割ってしまったと大きく報じられましたが、僅か6年後の2022年には80万人を割ってしまっています。

【グラフ1】



出生数の推移

※千の位を四捨五入

大阪府議会議員

中井もとき

豊中市が更に発展していくために、高麗さんと連携しながら今後も力を尽くして参ります。

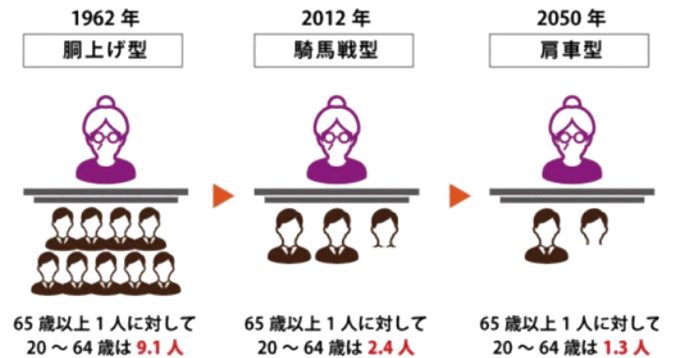
少子化対策号  
裏面に続きます

## 02 なぜ少子化対策が必要か

【図1】をご覧ください。人口割合として**現役世代が減ると一人当たりの社会保障費負担が大きくな**ってしまいます。人口が減るという事は、更に社会インフラ等を維持する費用等も一人当たりの負担が増すという事になります。このままの状況が続くと年金等の社会保障制度や社会インフラが維持できなくなる懸念があります。一方で、維持する為に一人当たりの負担を増やすとすれば、**税金や保険料が上がり可処分所得が減り、景気が上向きになることも難しく**なります。

簡単に言えば、**支え手を増やして皆が少しずつ負担**をすれば足りる状況にする為にも少子化対策が必要であると私は考えます。

【図1】



## 03 少子化対策について私の提案

充分かどうかは別として、今までも少子化対策として様々な子育て支援策が拡充されてきました。今後も更なる少子化対策が講じられることになると思います。しかし、残念ながら今までの対策は少子化傾向の改善には繋がっておりません。私は今までの延長で対策を増やしても改善に繋がらないと考えています。

既に見ていただいた通り我が国の出生数は激減しています。しかし、【図2】をご覧ください、**一夫婦あたりの出生数は大きくは下がっていません**。では、出生数が減少している本当の理由はどこにあるのでしょうか。

【グラフ2】をご覧ください。**生涯未婚率が大幅に上昇**しています。つまり、一夫婦あたりの出生数も確かに減少していますが、**生涯未婚率の上昇が出生数減少の大きな原因**となっていることが分かります。

そうであるとすれば、**結婚してからの支援や子どもが産まれてからの支援だけでなく、結婚に至るまでの支援にも力を入れていくことが必要**だと私は考えます。例えばですが、結婚をすれば共働きであっても税金の控除を受けられる税制として（仮）結婚控除など、結婚することへのインセンティブも設けるべきと考えます。

【図2】

### 完結出生児数

※夫婦の最終的な平均出生子ども数

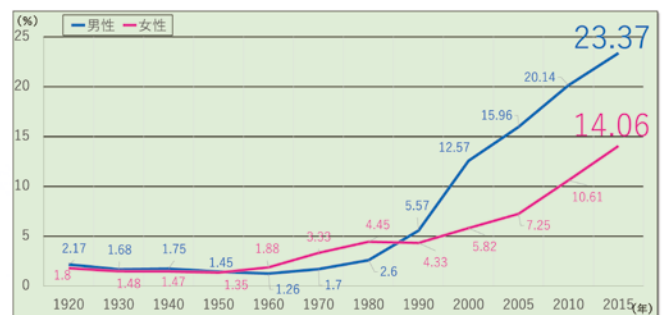
1972年 2.2人

2015年 1.9人



【グラフ2】

### 増加する生涯未婚率



私は、結婚をするかどうかは個人の選択の自由であり、あらゆる人生は尊重されるべきだという立場です。しかし、このまま少子化傾向が続くと社会保障の維持や経済成長が難しくなるという問題が更に深刻となります。したがって、少子化対策に皆さまの貴重な税金を使うことに何卒ご理解を賜りたいと考えています。